

2017年度 日本野鳥の会筑豊支部 総会報告

事務局：広塚忠夫

1. 日 時：2017年2月19日（日）：13：00～14：45
2. 場 所：コダイム王塚：王塚装飾古墳館レクチャー室（桂川町）
3. 内 容

午前中の久保白ダム探鳥会は、天気も良く、ミコアイサ・ツミ・オオタカなどの出現があり、帰路でウソガリョウブ(令法)の実を夢中に食べる長い間のサービスに、皆さん観察や撮影に満足されていました。

それに、ここ久保白ダム出身の平畑武則氏から久保白ダムに纏わるお話をお聴きすることが出来ました。“ダムの土手の工事が始まった昭和40年頃は、山越えの遠回りで穂波西小学校へ通学を強いられました。ダムの完成当初はワカサギ釣りなどができたが、例の如くブラックバスの投げ込みで消えてしまった。隣接の桂川町が山を崩し造成した団地に、入居者が全くなく約40年経過の二次林を我々は探鳥している現状です。”

彼は、現在もここで田畑を耕し野菜作りをされているそうで、その現場まで、梶原剛二氏・阿部哲也氏と私を案内して頂き、カシラダカ・アトリとの出逢いがありました。小学校時代の懐かしいお話や田圃が水没していった久保白ダムの周辺環境の激変について、懐かしいやら残念な今のお話を興味深くお聴きいたしました。

午後は、2017年度定期総会に17名の参加で行われました。総会はフィールド観察と違って、室内で資料に沿っての会議で面白みに欠けませんが、最後までお付き合い頂き、感謝いたします。

梶原剛二支部長のあいさつの後、議長に三浦博嗣氏を選出して議事が進行されました。会議進行の効率化を図るために、提案は活動報告と新年度方針の一括提案を受けての質疑応答方式で行われました。結果、各専門部、事務局、会計・販売部等の提案は、一部質問に補充回答がありました。全て原案の通り承認・採択されました。

なお、規約改正に関して、役員の任期は2年から1年に短縮して承認されました。

その他の具体的な内容については、別添の総会の質疑討論を経た修正資料を参照してください。

総会資料は、どうしてもページ数もかさばりますが、本会筑豊支部の活動総括と新年度の活動方針を把握するために通読して頂き、共通の認識で、新年度を大いに楽しみましょう。



《式次第》

- (1) 開会の辞 (事務局)
- (2) 支部長あいさつ
- (3) 議長選出
- (4) 議案審議
 - ① 2016年度活動報告
編集部・情報部・普及部・植物部・研究部・保護部・野鳥展実行委員会・
識別検討委員会・事務局
・その他 (いいつか環境会議・すずめ教室・竜岩自然の家 野鳥観察会)
 - ② 2016年度会計報告及び販売部報告
 - ③ 監査報告
(質疑応答)
 - ④ 2017年度活動計画
 - ⑤ 2017年度活動予算
(質疑応答)
 - ⑥ 役員選出
- (5) 新役員あいさつ
- (6) 議長解任
- (7) 閉会の辞 (事務局)

《編集部》：三宅敏靖

1. 2016年度活動報告

1. 会報 (野鳥だより・筑豊) の定期発行
毎月の最後の日曜日の前週の木曜日に発行 (1~12月号)
2. 会報の内容充実
 - ① 連載物の掲載
 - i) 「独断と偏見の識別講座Ⅱ」 (波多野邦彦氏) 連載 (1~12月号)
 - ii) 自由投稿「録音でつき合う野鳥の世界」 (田中良介氏) 連載 (1~11月号)
 - iii) 自由投稿「俳句 de 活写」 (落合東太氏) 連載 (1~12月号)
 - iv) 自由投稿「北風のたよりⅡ」 (中村 聡氏) 連載 (1~12月号)
 - v) 「野鳥俳句コーナー：野鳥俳句鑑賞」 (松尾節朗氏) 継続 (1~12月号)
 - vi) 「趣味のコーナー：英彦山の四季」 (広塚忠夫氏) 連載 (1~12月号)
 - vii) 「野鳥の豆知識」 (編集部) 連載 (1~12月号)
 - ② 新コーナーの開設
 - i) 「植物観察のいろは」 (植物部・編集部) 連載開始 (11月号より)
3. 会報表紙絵のイラスト作者交代
森河貴子氏 (2012年4月より4年7ヶ月) から波多野邦彦氏へ (11月号より)
4. 会報の読み易さ改善
 - ① ページレイアウトを一部段組みに変更 (5月号より)
 - ② 記事などのタイトルの強調表示 (図形化・塗りつぶし・網かけなど) (12月号より)
5. 会報 (メール版) の全国連携団体への送付開始
日本野鳥の会本部総務経由で全国 85 支部に PDF 版を送付 (12月号より)
6. 会報 (メール版) の配信の増加
昨年度より 5 人増加 (75 人→80 人)
* 全会員に対する配信率 : 31% (75 人 / 239 人) → 33% (80 人 / 241 人)

2. 2017年度活動方針

1. 会報（野鳥だより・筑豊）の定期発行継続
2. 会報の内容充実及び読み易さの改善
 - ①「読者の広場」欄に新コーナーの設置検討
 - ②各専門部との連携による紙面の充実
 - ③会報の読み易さの更なる改善
3. 会報のEメールによる配信の増加及び印刷物送付の減少
全会員にメール版の存在や良さなどを周知し、併せて、印刷物送付の減少を図る。



《情報部》：有働孝士

1. 2016年度総括

情報部のもっとも大きな事業は、「くまたか」の運営です。

「くまたか」は、ウェブサイトの特性である即時的広報および記録の保存と閲覧について統合的収集と永続的保存を目指しています。

即時的広報については、会員のみならずのご協力、行事等の突発的な変更などの広報ができるようになりました。会員の間にウェブサイトの特性と利便性に関する認識が広まったおかげではないかと思えます。会員の方々に感謝いたします。

また、記録の**統合的収集**では、本会および会員の活動によって発生する記録をなるべく多く収集し、「くまたか」という単一のメディアに保存してきました。これは、ウェブサイトがマルチメディアであるという特性を利用した結果ですが、他方、ウェブサイトは世界に開放されており、会員や一般からのアクセスも容易となるため、記録の閲覧利用が可能です。

探鳥会では、撮影される会員も多くおられますが、野鳥だけでなく、参加者の探鳥風景、現地の地形などの様子も撮影し「くまたか」にご投稿いただいております。感想文とともに、実にすばらしい記録・ドキュメントとなっております。

「くまたか」のアクセス・カウンタの記録から、意外にも一般からのアクセスの割合が多い様子が見取れます。このことは、会員増への足がかりとなっているのではないかと推察するところです。新しいお知らせのみを主に掲示し、古くなるとあっさりとして捨てるような（呆れた）電子看板的運用を排している「くまたか」では、実時間的な感じや内容の厚さなど、他会のウェブサイトと比較してコミュニケーションが取りやすいのではないかと想像され、他県から問い合わせなどをいただくこともあります。

永続的保存では、日々、「くまたか」に掲載される観察記録・記事・ニュースは、すべてウェブサイトのページに記録・保存されており、2009年ウェブサイト発足以来の全記録が、テキストの他、カラー写真、動画などこれまでとは異なった詳細かつ多様な形で保存されています。このことは、私たちの活動自体がマルチメディア情報としてつぶさに記録されていることを意味しています。たとえば100年後にわたしたちの活動を伝えるタイムカプセル的役割も担っています。

事蹟

- ・2016-08-16：レンタル・サーバーのレンタル期間を2019-08-31まで更新しました。
- ・2016-12-21：TV会議のサービスをappear.inからlmeeting.netへ変更しました。

2. 2017年度方針

公式ウェブサイト「くまたか」の運営を続行します。

日々、生起する様々なイベントは、すべて本会の歴史の一部であり、貴重な記録です。このような認識のもと、これまでのようになるべく多くの記録を「くまたか」に収集していきたいと思えます。また、機会を捉え、会員に「くまたか」の特性と目的への理解を訴え、ご協力をお願いすることとします。

今後とも、100年を超える長期的視野に立った記録の積み上げと保存を目指します。

「100年」という期間を笑う方もおられますが、いかにも想像力不足です。本会は発足以来すでに46年をけみしており、発足時から100年まですでに半分足らずを達成しています。若い会員なら、本会発足100周年を迎えられる方もおられるでしょう。よって、もちろん100年後には、さらに100年先を見通していかなければなりません。なにより、メディアを運営する以上はこうした長期的視点が必須であり、また得られる時間的視野は広くまた遠くまで届きます。

不確かな未来に向かって、記録という確かな足場を築きながら、野鳥と自然の保護、本会の成長に資するよう保存を目指します。

退会にともない、「くまたか」に掲載してきたご自身のコンテンツを削除したいという要求をされることがあります。

在会中、コンテンツを投稿され、退会の際、掌返しにそれらを一挙に削除すべしとの要求は、言わば積み上げたレンガの随所から突然無作為に多くのブロックを抜き取ることであり、緻密に組み上げている「くまたか」の全体が、穴だらけの脆弱な構造体となってしまいます。

総括の部でも述べたように、「くまたか」はありきたりな電子看板ではなく、またとない貴重な記録の保存を旨としており、「くまたか」に掲載された時点で、本会の歴史記録の一部となっています。このような歴史が一部とはいえ空白化します。

また、ウェブサイト内部では縦横にハイパーリンク（リンク）が張り巡らされることが多く、コンテンツの削除により有機的な意味を持つつながりが失われてしまいます。

投稿者に著作権がある以上、サイト管理者には削除の拒否はできません。とは言え、万一退会されるときでも、理由の如何にかかわらず、コンテンツはどうかそのままに残していただくよう、切にお願いいたします。

「くまたか」へのアクセス方法で、ウェブサイト初心者の方から戸惑いの声が聞かれます。

特にトップページは、若干複雑な構成のため不満が多いようです。

近年、端末が従来のPC（マウス・キーボード）からタブレットやスマートフォン（タッチ式）など多種類となり操作法が必ずしも共通・直感的ではなくなっています。今後の聞き取り等によりページの改善を図りたいと思えます。

一方では、ユーザーのウェブ・リテラシー（常識）が不足している部分もあるようです。「くまたか」のようなウェブサイト为例にすると、画面のボタンやメニューなどの基本操作、What's Newなど各種内容の意味、全体のページ構成等を理解する必要があります。

野鳥の会の活動とは、端的に言って（行動を伴う）情報活動であり、書籍とともに現代で情報といえばメールやウェブサイトなどインターネットへのアクセス無しでは考えられません。このようなデジタル環境は、カメラも含みもはや野鳥観察のツールとさえなっています。

情報部として、機会を捉えデジタル端末のリテラシー向上を啓発していきたいと思えます。

《普及部》：梶原剛二



【2016年度：探鳥会報告】

開催回数	月	日	曜日	探鳥地	集合場所	担当者	種	参加者数
814	1	10	日	彦山駅周辺	JR彦山駅	野村芳宏	25	10
緑少年団		15	金	飯塚市八木山	八木山小学校	野村・木村・柴田	30	1～6年
815		24	日	東大橋海岸	行橋市役所駐車場 (筑・北合同)	田代省二	0	1
816	2	7	日	犬鳴ダム	犬鳴ダム駐車場	阿部哲也	26	12
817		12	金	豊前海岸	綱敷天満宮駐車場	古城英彦	53	13
818		15	月	瀬板の森公園	瀬板の森公園南駐車場	金子忠英	36	16
819		21	日	久保白ダム	王塚古墳駐車場	梶原剛二	49	24
820		29	月	JR彦山駅周辺	JR彦山駅	広塚忠夫	21	6
緑少年団		27	土	山口小学校周辺	山口小学校	野村・木村・広塚	26	3～6年生
821	3	13	日	英彦山・深倉遊園 ～草木ヶ峠	JR彦山駅	三宅敏靖	20	12
822		20	日	藍島	市営渡船場	林 孝	37	22
823	4	2	土	久末ダム	久末ダム多目的駐車場	阿部哲也	45	14
824		17	日	英彦山・深倉遊園 ～草木ヶ峠	JR彦山駅	河野藤孝	19	11
自然観察会		14	木	香春岳	香春役場	広塚忠夫	14	6(4)
825		24	日	三毛門海岸	三毛門JR駅	下田信廣	38	9
緑少年団		28	木	飯塚市八木山	八木山小学校	野村・柴田・三浦	17	1～6年
自然観察会		28	木	英彦山・深倉	英彦山・深倉遊園	真鍋直嗣	13	3
826	5	4	月	中津東浜	中津城広場(筑・北合同)	古城英彦	49	6(9)
自然観察会		12	木	平尾台	自然観察センター駐車場	三浦美代子	18	14(3)
827		8	日	明神ヶ辻山自然公園	総合運動公園駐車場	梶原剛二	20	8
828		15	日	英彦山・深倉	JR彦山駅	柴田 光	21	12(13)
緑少年団		18	水	若宮市山口	山口小学校	野村・木村・三浦	20	50
自然観察会		19	木	英彦山・深倉峽	JR彦山駅	真鍋直嗣	27	5
自然観察会		20	金	中津本耶馬溪	道の駅耶馬トピア	古城英彦	23	6
829		29	日	大法山	山田梅林公園駐車場	国武光成	0	0

自然観察会	6	2	木	英彦山・深倉峽	JR彦山駅	真鍋直嗣	27	3
830		4・5	土日	リーダー育成研修会	英彦山青年の家	広塚忠夫	20	
自然観察会		9	木	英彦山・経読林道	JR彦山駅	三浦博嗣	15	7
831		12	日	英彦山・深倉峽	JR彦山駅	野村芳宏	18	9(1)
自然観察会	7	16	木	平尾台	自然観察センター駐車場	三浦美代子	12	8
832		3	日	寒田	平成筑豊鉄道犀川駅	中嶋睦夫	20	9
自然観察会		7	木	千石峽	千石峽駐車場	広塚忠夫	15	7
自然観察会	8	14	木	平尾台	自然観察センター駐車場	中村照美	14	15
自然観察会		4	木	古処山	遊人の杜駐車場	三浦博嗣	14	13
自然観察会		18	木	平尾台	自然観察センター駐車場	岩本君子	13	14
833	9	28	日	英彦山神宮周辺	JR彦山駅	三宅敏靖	5	7
834		11	日	英彦山・深倉峽	JR彦山駅	森永光直	駅14・ 17	11
自然観察会		15	木	平尾台	自然観察センター駐車場	松隈英子	9	7
835		18	日	剣岳	剣岳展望台	国武光成	0	0
835		18	日	六ヶ岳	六ヶ岳山頂	広塚忠夫	0	0
835		18	日	明神ヶ辻山自然公園	弓道場横駐車場	梶原剛二	0	0
秋ハチクマ		23	木	剣岳	剣岳展望台	国武光成		1
秋ハチクマ		23	木	六ヶ岳	六ヶ岳山頂	広塚忠夫		1
秋ハチクマ	23	木	明神ヶ辻山自然公園	弓道場横駐車場	梶原剛二	19	3	
336	10	9～ 10	日月	東よか干潟・金御 岳バスツアー	JR鞍手駅	国武光成	東29・ 金29	37
アイラブ遠賀川		10	日	遠賀川河川敷	遠賀川河川敷本部	松尾節朗	12	12
837		13	木	福智町市場	彦山川(福智市場)	有働孝士	18	13
ヒヨドリ渡り		13	木	福智町市場	市場小学校	野村・国武・ 梶原	7	68
838		16	日	英彦山・深倉峽	JR彦山駅	中山 一	12	8
自然観察会	11	20	木	平尾台	自然観察センター駐車場	佐藤久恵	16	13
自然観察会		3	木	英彦山・経読林道	JR彦山駅	真鍋直嗣	12	12
839		13	日	築上町高塚	綱敷天満宮駐車場	大木謙之介	56	24
840	12	20	日	英彦山・深倉峽～ 草木ヶ峠	JR彦山駅	有働孝士	駅13・ 17	16
自然観察会		1	木	御所ヶ谷	香春町役場	広塚忠夫	20	10
841		4	日	大ヶ原	川崎町ラピュタファーム	竹田澄子	29	17
		8	木	大ヶ原	川崎町ラピュタファーム	有働孝士	37	11

(注)参加者数の()内は他支部

2017年度 (H29) 探鳥会予定表 (案)

	日	曜日	探鳥地	集合場所	集合時間	担当者	連絡先
4	2	日	久末ダム	久末ダム駐車場	9時	阿部哲也	090-8767-3576
	9	日	英彦山	JR彦山駅前	9時	河野藤孝	0947-42-1923
	16	日	三毛門海岸	JR三毛門駅	9時	下田信廣	080-1711-8218
	28	金	中津干潟(筑・北合同)	中津城広場	9時	古城英彦	090-8768-5839
5	7	日	明神ヶ辻山自然公園(水巻町)	明神ヶ辻山自然公園駐車場	9時	梶原剛二	090-1921-6529
	14	日	英彦山(パードウィーク)	JR彦山駅前	9時	柴田 光	090-2853-1121
	20・21	土・日	九州・沖縄ブロック大会 in 英彦山	英彦山青年の家	13時	梶原剛二	090-1921-6529
6	4	日	大法山	山田梅林公園駐車場	9時	国武光成	090-2969-6105
	11	日	英彦山	JR彦山駅前	9時	野村芳宏	090-5927-0067
7	9	日	築上町寒田	平成筑豊鉄道犀川駅	9時	中嶋睦夫	0930-54-0252
8	27	日	英彦山・清掃探鳥会	JR彦山駅前	9時	三宅敏靖	090-7394-2813
9	8	金	中津干潟(筑・北合同)	中津城広場	9時	古城英彦	090-8768-5839
	10	日	英彦山	JR彦山駅前	9時	森永光直	090-7924-3536
	23	土・祭	ハチクマ渡り観察会(筑・北合同)	六ヶ岳・剣・明神ヶ辻山	9時	柴、国、梶	
	24	日	六ヶ岳	六ヶ岳山頂	9時	柴田 光	090-2853-1121
		日	剣岳	剣岳展望台	9時	国武光成	090-2969-6105
日	明神ヶ辻山自然公園(水巻町)	明神ヶ辻山自然公園駐車場	9時	梶原剛二	090-1921-6529		
10	8	日	I LOVE遠賀川	飯塚市遠賀川中の島	8時	松尾節朗	0948-23-7787
	11	水	ヒヨドリ渡り	市場小学校	9時	国武光成	090-2969-6105
	15	日	ヒヨドリ渡り	彦山川河川敷(福智町市場)	9時	落合東太	090-8832-7979
	22	日	英彦山	JR彦山駅前	9時	中山 一	090-8288-6977
11	12	日	豊前海岸	綱敷天満宮駐車場	9時	大木謙之介	090-4348-5804
	26	日	英彦山	JR彦山駅前	9時	有働孝士	080-5255-3118
12	3	日	大ヶ原	ラピュタファーム	9時	竹田澄子	0948-52-2466
	17	日	本会筑豊:忘年会	本会事務所	11時	広塚忠夫	0947-42-4612
1	1	月・祭	久保白ダム	飯塚市側堰堤駐車場	9時	有働孝士	080-5255-3118
	13・14	土・日	バスツアー:出水/諫早?	JR鞍手駅前	9時	国武光成	090-2969-6105
	21	日	英彦山	JR彦山駅前	9時	真鍋直嗣	080-5207-8636
	28	日	東大橋海岸(筑豊・北九州合同)	行橋市役所	9時	田代省二	090-2589-4843
2	4	日	犬鳴ダム	犬鳴ダム駐車場	9時	阿部哲也	090-8767-3576
	11	日	英彦山	JR彦山駅前	9時	野村芳宏	090-5927-0067
	18	日	久保白ダム	王塚装飾古墳館駐車場	9時	松尾浩二	090-8394-5696
			本会筑豊:定期総会	王塚装飾古墳館	13時	梶原剛二	090-1921-6529
	26	月	瀬板の森公園	瀬板の森公園南口駐車場	9時	金子忠英	090-5383-2581
3	11	日	英彦山	JR彦山駅前	9時	三宅敏靖	090-7394-2813
	18	日	藍島(筑豊・北九州合同)	藍島・馬島行待合所	8時30分	林 孝	090-9589-0375

《植物部》：三浦博嗣



2017年度：自然観察会（最終案）

月	日	曜日	観察場所	集合場所	集合時刻	担当者	前年参加
4	13	木	香春岳	香春町役場	9:00	広塚忠夫	10
	20	木	深倉峡	JR彦山駅	6:00	真鍋直嗣	3
5	11	木	平尾台	平尾台自然観察センター駐車場	9:00	三浦美代子	17
	18	木	深倉峡	JR彦山駅	6:00	真鍋直嗣	5
	26	金	天生田	平成筑豊鉄道豊津駅	9:00	古城英彦	6
6	8	木	深倉峡	JR彦山駅	6:00	真鍋直嗣	3
	⑮	木	経読林道	JR彦山駅	9:00	三浦博嗣	7
	29	木	平尾台	平尾台自然観察センター駐車場	9:00	村上貴久子	8
7	6	木	笠置山	千石峡駐車場	8:00	広塚忠夫	7
	13	木	平尾台	平尾台自然観察センター駐車場	8:00	中村照美	15
8	③	木	古処山	遊人の杜駐車場	8:00	三浦博嗣	13
	17	木	平尾台	平尾台自然観察センター駐車場	8:00	岩本君子	14
9	14	木	平尾台	平尾台自然観察センター駐車場	8:00	松隈英子	7
10	12	木	平尾台	平尾台自然観察センター駐車場	9:00	佐藤久恵	11
11	②	木	経読林道	JR彦山駅	9:00	真鍋直嗣	12
12	7	木	御所ヶ岳	香春町役場	9:00	広塚忠夫	10
3	15	木	平尾台	平尾台自然観察センター駐車場	9:00	三浦美代子	—

* 4・5・6月の深倉峡での探鳥会は集合時刻を 6:00 にする。(従来は 5:00)

* 3月を新たに企画(平尾台の野焼き後の新たな植物の息吹を観察する)

* 日付の○は苔の観察の予定

《研究部》：柴田 光

1. 2016年度活動報告

□ガンカモ一斉調査の継続

◇調査日…2017年1月7日～20日

◇調査地点…久保白ダム 821・鴨生田池 207・力丸ダム 35・油木ダム 19・彦山川 173

合計 12 種 1,255 羽を確認。マガモ 838・オシドリ 141・ヒドリガモ 87・の順に数が多かった。

□ハチクマ渡り調査の継続

◇春の渡り調査：5月、合計 15 羽

観察地は小倉北区上富野で 7 羽(岩本)、六ヶ岳で 2 羽(小河)、明神ヶ辻山自然公園で 6 羽(梶原)の三箇所です。

◇秋の渡り調査：9月18日～10月15日、合計 551 羽

定点の六ヶ岳、剣岳に加え各地で観察されたものです。

◇9月18日に予定されていたハチクマ探鳥会は台風16号接近に伴い、3会場での探鳥会は中止されました。

◇9月22日には明神ヶ辻山自然公園で観察会を行いました。ハチクマの確認は0でした。

□英彦山ソウシチョウ調査の継続

□バードリサーチ：データベース化 継続

□山口小学校・八木山小学校で探鳥指導：野村氏、木村氏、三浦氏、柴田

□竜岩自然の家で5月～2月、毎月第4日曜日に観察会(木村)

□観察サイトへの調査協力

□県の委託調査…英彦山調査のため広塚忠夫さんにとりまとめをお願い

□鳥獣保護員パトロール：筒井、木村

2. 2017年度活動案

□ガンカモ一斉調査の継続

◇調査予定日…前年度と同じく成人の日前後の午前中

◇調査予定地…久保白ダム・鴨生田ダム・力丸ダム・油木ダム・彦山川

□生息・渡り調査

◇英彦山のソウシチョウ生息調査

◇ガビチョウ・リュウキュウサンショウクイなど進出状況の情報収集→バードリサーチに入力

◇情報部との連携により観察サイトの調査継続とデータ分析

◇ハチクマ渡り調査の継続

春の渡り調査…六ヶ岳定点調査・英彦山山系渡り調査の継続

秋の渡り調査…六ヶ岳・剣岳・明神ヶ辻山自然公園を中心にロング調査と、9月23日の合同調査

□県委託調査…調査継続

□情報部の野鳥観察サイトに積極的に参加、協力

□バードリサーチ：情報入力継続と情報の利用

□竜岩自然の家（筑紫野市）での初心者対象野鳥観察会の継続(2017年度も継続決定)

□小学校、中学校、自治体のバードウォッチング…将来の会員の育成

□環境保全指導員：広塚

□ホームページ運営への協力

□「筑豊博物」へ探鳥会報告2015の発表：木村

□鳥獣保護員パトロール：筒井、木村

〈お願い〉探鳥会報告の出現種の報告はできる限り、日本鳥類目録改訂第7版のリスト順に並べてくださいますようお願い致します。

《保護部》：筒井哲史

1. 2016年度活動報告

筑豊地区の密猟の見回りを鳥獣保護員の巡視とともに実施しています。2016年の巡視で違反などは見つかることはありませんでした。

東峰村にて「修験道トレイルランニング」が開催されることに伴うクマタカへの影響について意見をしました。この意見によってクマタカモニタリング調査が実施され報告書が提出された後で東峰村に意見書を提出しました。

福岡県が策定する第12次鳥獣保護計画についての意見を県に提出しました。

1. 密猟の見回りを実施しました。
2. 野鳥の繁殖に影響を与える行為が行われていないか見回りを実施しました。
3. 違法野鳥の飼養が行われていないか鳥獣店やペットショップの見回りを実施しました。
4. 東峰村トレイルランニング大会開催によるクマタカ調査報告書に意見しました。
5. 第12次鳥獣保護計画に対して意見しました。

2. 2017年活動方針案

本年も引き続き以下の活動を行っていきたいと思います。2016年に大牟田にてメジロを43年もの長い間許可が出さされていて複数個体を飼うために虚偽登録していた事件が発生しました。県や自治体に飼養許可の全廃を求めていききたいと思います。

1. 野鳥の繁殖に影響を与える行為をやめるように注意を行います。
2. 環境省がメジロの愛玩飼養目的の捕獲を原則禁止としました。この規則について広く啓蒙されるように普及に努めます。
3. 飼養許可の全廃を求めていきたい
4. 違法野鳥の飼養が行われていないか鳥獣店やペットショップの見回りをを行います。

《野鳥展実行委員会》：野村芳宏

1. 2016年度の総括

(1) 会の発足と経年

- ・発足 2014年2月に野鳥の会筑豊支部の総会で承認
- ・2016年で経年3年

(2) 実行委員

- 4名 飯塚地区：野村芳宏（実行委員長） 田川地区：落合東太
京築地区：大木謙之介 直鞍地区：阿部哲也

(3) 野鳥展

- ①期 日：2016年8月21日（日）～31日（水）
- ②場 所：メタセの杜 国際交流館（築上郡築上町弓の師765番）
- ③開 催：日本野鳥の会筑豊支部主催
- ④テーマ：「花鳥風月」
- ⑤展示内容：写真30点、俳句40句
- ⑥来場者数：490名
- ⑦広 報：築上町の町報・読売新聞・西日本新聞
- ⑧関連イベント
 - ・筑豊支部のホームページ「くまたか」に仮想写真展を実施（野鳥展の展示作品をアップ）
 - ・早朝バードウォッチングは未実施（会場の駐車場の都合で）

※総括については2016年10月号「野鳥だより」に記載

2. 2017年度の活動方針

- ①開催地区：直鞍地区
- ②会 場：未定
- ③期 日：8月の予定
- ④テーマ：「里山の野鳥たち」
- ⑤展示内容：写真30点前後（A3サイズ展示可能）、俳句数点
- ⑥写真の応募：6月中旬
- ⑦会場費
- ⑧関連イベント：検討中



【野鳥展実行委員会規約】

1. 目的
毎年各地域で開催する野鳥展を成功させることを目的とする。
2. 組織
実行委員4名で構成する。そのうち1名を実行委員長とする。
3. 選出
直鞍・飯塚・田川・京築の各地域から実行委員を1名選出し、互選で実行委員長を決める。
4. 任期
実行委員及び実行委員長は2年とする。再任は妨げない。
5. 役割
実行委員長は、野鳥展の企画、実施の役割を担う。実行委員は、実行委員長の補佐を担う。
6. 開催期間
原則として年に1回、8月に行う。
7. 開催地域
2014年：飯塚地区
2015年：田川地区
2016年：京築地区
2017年：直鞍地区
2018年以降は、この順番で行う。
8. 発足
2014年1月の総会で承認を得て、発足する。
9. 改正及び破棄
上記の規約を改正及び破棄する場合は、野鳥の会の総会の承認を得る。

《事務局》：広塚忠夫

2016年度は、ボランティア自然保護団体として、多くの会員からの知恵出しとボランティア協働による会運営に努めました。知恵だし、いわゆる多様なアイディアの提案は可能な限り取り入れ了解の上、実現しました。例えば、フィールド活動として、金御岳バスツアーや御所ヶ岳自然観察会の復活、正月探鳥会の試行実施など、皆さんの提案により内容を膨らませながら行えたと評価致します。

室内行事や任務については、毎月の運営委員会や会報（野鳥だより・筑豊）発行、本会サイト「くまたか」の毎日の更新、恒例の忘年会、夏の

野鳥展、リーダー育成研修会など年間を通して、大変ではあったが、充実した多くの行事が思い浮かびます。これらも専門部々長を始め多くの会員のみなさまの協働によるものとお礼申しあげます。

事務局としては、各専門部と企画を含めた調整段階から関わってきたことから重複した報告が一部あるかと判断しますが、各専門部からの提案の総括と方針と併せて、議論頂ければ幸いです。

事務局の総括と方針及びその他、承認案件と必要な報告項目について何点か合わせて提案致しますので、ご審議願います。

1. 会員動静の検証と総括

(1) 2016年の筑豊支部の会員動静

2015年12月1日現在：239名（家族会員含む）

2016年12月1日現在：241名（家族会員含む）＋くまたか会員：3名

（内訳）2016年：入会者 15名、退会者 12名 結果 3名増

くまたか会員（お試し会員）：入会者 3名

（支部ネット通信に基づく会員動静）

退会の要因は、超高齢化、介護施設入所、死亡、及び会費未納による自然退会、その他となっています。

2016年の入退会者は3名増となっていますが、会員数で検証しますと、239名（2015年末）から241名（2016年末）へ2名増となっています。この1名不足の矛盾する理由は、会費未納による退会が7ヶ月後の処理となっているためです。

会費未納者には、財団本部から3回程手紙による督促を行うため7ヶ月後に退会処理となっているためと判断されます。

2016年を振り返ると、本会行事実施は、役員だけでなく多くの会員の協力を得ながらフィールドでの観察会を楽しみ、野鳥の会の紹介機会を多くして対策を行って、新たに15名の入会者及びくまたか会員3名の計18名をお迎えしました。

(2) 2017年の会員増の取組

会報「野鳥だより筑豊」・本会サイト「くまたか」・マスメディアに野鳥の会行事を掲載して市民参加を呼びかけます。

会員の皆様へのお願いは、フィールドの観察の魅力を自分だけのものに終わらせず、その面白さを友人知人に伝え、海山川湖の行事コースをご一緒して現地を歩きながら自然観察を楽しみ、結果、野鳥・野草や生き物の識別レベルも自然にあがるように工夫しましょう。何と言ってもフィールドの観察の魅力を体験して頂ければ、入会の働きかけも無理なく行えます。自然の不思議さや観察の喜びを知って頂く活動こそ重要な活動です。そのためには、自分だけの楽しみに独占しなく、一緒に愉しむように多くの方をお誘いしましょう。

また、2015年度からの新たな施策の「くまたか会員」（お試し入会制度）による入会者は総計14名に達しています。1年間の本会活動の体験又はサイトや会報情報から本会の評価を頂き、1年経過する方に「くまたか会員」から「正会員」へ移行をお勧めして、3名の方が正会員になられました。今後も機会があるごとに、くまたか会員制度を活用していきます。

2. 運営委員会

(1) 2016年運営委員会

毎月、最後の日曜日前の木曜日に定例運営委員会を行いました。毎回、行事の振り返りを行い、具体的な意見要望が提案された項目を検証して対策や企画案を了解のうえ実施致しました。

更には、毎月の運営委員会前には、各専門部々長等から提案議題を事前に頂戴して、ボタンの掛け違いを無くすためにTV会議による意見交換で提案趣旨を正確に把握し、運営委員会に再提案して合意を求めて来ました。

当日は、10時30分頃から会報印刷（梶原剛二支部長等）、12時30分頃から丁合・発送作業を行い、終了後続いて運営委員会を16時30分目処に行いました。運営委員会への参加協力については、探鳥会など機会ある毎に、年1回でも本会事務所に気が向いたときだけでも気軽に足を運んで頂けるようお願いしました。年間を通しては、新しい参加者を含めて常時10人超の参加者でおこなうことが出来ました。

(2) 2017年運営委員会

フィールド観察会と比べると、面白くもない室内会議ではありますが、会運営を行う大切な会議であるので、運営に一工夫必要かと判断されます。お知恵拝借しながら、気軽に参加ができるよう行いたいと思っています。

参加者が多くなれば、会報発送作業が短時間で終わり、また、役員だけでなく一般会員の参加で、新鮮なご意見など新たな施策に取り入れることが可能になります。しかしながら、初めて参加の一般会員からは“別次元の話の様”に聴こえる、との感想があり、会議の進め方の改善に努めます。

3. 新役員体制について

役員の立候補は会報誌上に掲載して、立候補受付を準備しましたが、立候補はありませんでした。よって、事務局で調整した案を提起致します。

(1) 新体制

前年の全役員は原則、継続をお願い致しました。はっきり言って還暦を過ぎた役員が殆どで、本会にとって50代役員は青年扱いで数人おられますが、現役で仕事など忙しくて会議参加が殆どありません。

役員の任務は遂行されていることに感謝致しますが、運営委員会参加について敢えて申し上げます。日程調整ができる時だけでも、または、短時間参加が可能な日だけでも参加できるように調整をお願いします。実際に還暦過ぎた現役の役員さんでも、仕事との調整で短時間参加の実績が多々あることご理解頂ければ助かります。

この目的は、若い役員からの新しい提案やご意見などを期待しているためです。以下、具体案です。

①副支部長に三浦博嗣氏を植物部長兼任で提案します。

②普及部については、松尾浩二前部長の体調が、まだ完全復活に到ってないので、梶原剛二支部長兼務体制を継続します。

③植物部長は次に続く人材が育つまで、三浦博嗣氏の継続を提案します。

④新会計監査に後藤ようこ氏と宮本秀美氏を提案します。

(2) 派遣役員について（昨年から変更なし）

①福岡県鳥獣保護員：筒井哲史、木村直喜

②福岡県環境保全指導員：広塚忠夫

③遠賀川モニター：梶原剛二

④いづか環境会議：後藤ようこ

⑤緑の少年団探鳥会指導員：野村芳宏、柴田 光、木村直喜、三浦博嗣

(予備：広塚忠夫)



4. 自然観察会について

(1) 2016年

自然観察会が16回開催されました。担当は、個人負担に偏らないように多くの方に分担して頂き、フィールドでの案内や識別の指導は、役員や高レベルの方と協働して行い、常連の参加者には花リストを事前送付による予習もお願いして「みんなで識別」の方法で行いました。

担当は、お手伝いの段階から自ら担っていく観察会へ前進していると評価しています。お世話役活動を体験されて、責任感や観察意識の向上と併せて識別レベルアップも身に付く不思議さを、確かめることができたのではないかと想像しています。

(2) 2017年

新年も「みんなで識別」の方式で行います。

2015年から平尾台自然観察会は、女性会員担当の自然観察会の幕開けになりましたが、今年も女性会員による運営をお願いします。この運営方式は、現役で多忙な会員等それぞれの生活条件下の厳しさの濃淡はありますが、

フィールドで花々や自然観察を愉しみながら可能な範囲でお世話役も担って頂くことが、運営の継続も図れて展望も拓けるのではないかと期待しています。なお、平尾台以外の自然観察会は男性会員が担当する方式で試行していきます。

5. 自主企画の行事

会員による自主的な探鳥会や自然観察会、個人写真展等の積極的開催を推奨致します。

自主企画に対しての開催条件と本会筑豊支部の支援について、参考まで、下記に記載します。

- (1) 自主企画者は、会報「野鳥だより・筑豊」又は、本会サイト「くまたか」に行事内容を事前に投稿して、結果報告も必須です。
- (2) 安全第一
行事開催に当たり安全に対しては、テンプレートを活用して注意喚起を行う。
- (3) その他
行事の参加者名簿の作成と参加費の100円は徴収する。
(注) 本会筑豊支部は本部の標準保険にプラスして「追加プラン」に加入しています。
(1)～(3)は、事故発生時に、探鳥会保険の適用の必須条件です。
- (4) 開催条件と本会筑豊支部の支援体制
 - ① 環境保全(ローインパクト)：野草採取の禁止及びポイ捨て厳禁などの周知徹底
(注) 例会テンプレートを配布して、注意事項を読み上げて周知
 - ② 野鳥生態などに悪影響を及ぼす様な行為、撮影、写真展示は行わない。
 - ③ 本会の備品(ノートPC・プロジェクター・写真額・CD・各種資料)の貸出及びプリンター印刷など活用ください。
 - ④ 会報(野鳥だより・筑豊)及び本会サイト「くまたか」などによる広報
 - ⑤ その他の支援は、本会の力量を考慮して自主企画者と相談して決定
- (5) その他
小学校などの学校関係の観察会は、安全管理の視点から主催は学校にお願いして、本会会員が探鳥会指導を分担する。
(昨年実施) 八木山小学校・山口小学校探鳥会(緑の少年団探鳥会)、すずめ教室
(直方市：遠賀川水辺館：毎月開催)・竜岩自然の家野鳥観察会(原則、毎月)

6. バスツアーについて

- (1) 2016年
団体支援助成事業を活用し、大授搦(シギチドリ)経由の金御岳(宮崎/サシバ)を実施したところ、歴史的なサシバ渡りの大歓迎により、大喜びしたこと、会報・サイトで報告した通りです。
- (2) 2017年
諫早湾(長崎/ノスリ・チュウヒ等)の提案がなされていますが、その他の野母崎(長崎/秋の渡り)などのご提案を期待しています。

7. リーダー育成研修会及び九州沖縄ブロック大会 in 英彦山

- (1) 2016年
第三回リーダー育成研修会は、60名超の参加で英彦山青年の家6月4日～5日で実施しました。
- (2) 2017年
リーダー育成研修会に替わり、九州沖縄ブロック大会 in 英彦山を5月20日～21日に本会筑豊支部が担当で、12年振りにお世話役を致します。
参加規模は、会員と一般市民を含めて300名(日帰りを含む)を目標に呼び掛けていますので、多くの参加をお待ちしております。日帰りの講演会だけ参加も大歓迎です。

また、オークションへ提供協力をお願いします。
なお、参加者への本会からのお土産について「英彦山ガラガラ・手作りバンダナ・プラ板・継続使用可能なネームプレート(名札)・その他」案が提起されていますが、ご意見を伺いながら決定することとします。
別途、プラ板創りは、木村直喜氏から提案頂く予定です。

《識別検討委員会》：有働孝士

識別検討委員会（以下、委員会）の役割は、会員からの識別依頼にお応えし、また本会（日本野鳥の会筑豊支部）に蓄えられた観察記録を再検証のうえより正確な記録とするための作業等を行うことです。このような作業の過程からたいへん貴重な知見が得られます。これらは識別の学習や研究などに役立つ資料となることから、共有のため本ページでも公開されることとなりました。委員会のメンバーは本会会員のうち識別に関心を持つ方により構成され、また本会外の高い識別能力のある方にも助成をいただいています。（「くまたか／識別検討委員会」前文より）

2016年度は、下記3件のご依頼があり、それぞれに決着をみています。なお、（掲載）は「くまたか」掲載日です。「くまたか」掲載の経過全文をここに記すと大部となるため、要所から抜き書きとしました。詳細は、URLにて参照してください。<http://yacho.org/a/323> 行き違い等をさけるため一部を除き、匿名を原則としています。

010: 亜種カラフトチュウヒバリおよび不明ホオジロ類（掲載 2016-03-10）

A010 氏の質問 a

『亜種カラフトチュウヒバリではないか』と思い、同定依頼を致しました。

A010 氏の質問 b

二つ目は不明ホオジロ類です。

B010 氏の回答

何の違和感もないことから単なるヒバリ (*Alauda arvensis japonica*) だと思われます。

何の違和感もないことから単なるアオジの雌だと思われます。

C010 氏の回答

写真で見る限り、ヒバリと思います。

今回の写真の限りでは、アオジ♀ではないでしょうか。

識別検討委員会によるまとめ

初めに結果から申し上げますと識別検討委員会（以下、委員会）では、ご依頼の件はヒバリとアオジ雌との結論です。

ご意見は、2名の方からいただきましたが、共に同じ結論でした。

011: マダラチュウヒ♀?の鑑定依頼（掲載 2016-05-30）

A011 氏の質問

この度、マダラチュウヒの♀らしき個体を撮影しましたので同定の方宜しくお願い致します。

B011 氏：写真の見解

写真の鳥はハイイロチュウヒの♀若鳥またはハイイロチュウヒの幼鳥と思われます。

C011 氏：回答と理由

回答 本件個体はマダラチュウヒ雌第1回夏羽だと思われます。

窓口担当：二つのご意見

一本化は困難ですので、二つのご意見を併記するに止めることといたします。

012: 不明ヒナ (掲載 2016-09-25)

網野泰蔵氏依頼

巣立ち前のヒナです。すぐ死んでしまいましたが、名前はわかりません。宜しくお願い致します。

A012 氏

見るからにセッカですが・・・。

Google で見るとアシ原があるようですので、セッカの生息場所と考えられますね。

B012 氏回答

写真での大きさ、頭部の模様、重さ等からセッカの巣立ち直後と思われます。識別検討委員及び有識者の皆様へ

本件は、巣立ち前のヒナで大変識別が難しい依頼でしたが、どちらも「セッカ」と推定されましたので、お知らせ致します。

《すずめ教室》：梶原剛二

(めだかの学校すずめ教室、だれが生徒か先生か?)

第4土曜日の10時~12時、2007年5月26日(土)から10年になります。小学生対象の遠賀川水辺館周辺でのバードウォッチングです。時には野鳥の絵を描いたり、紙粘土で鳥を作ったり、飛行する鳥を作り飛ばしたりもしています。本会筑豊支部会員の、高取正代さん、杉田克江さん、岩野伸子さん等にも助けていただいています。

バスで今までに出水、曾根干潟、久保白ダム、綱敷天満宮、きらら浜自然公園、常盤公園、遠賀川河口堰、北九州市ビオトープ、東よか干潟等にバードウォッチングに行きました。

「金曜日だれでも初心者バードウォッチング」

(金曜日 10時~16時、好きな時間にあなたと一緒に、バードウォッチングをしましょう。)

2013年2月1日(金)から始めて5年になります。(毎週金曜日)

人との楽しい出会いと、バードウォッチングを楽しんでいます。

《平成28年度いづか環境会議報告》：後藤ようこ

- 毎月第二水曜日 18時より飯塚市役所にて定期開催。
- 活動内容(主なイベント)
 - 5・6・9月：緑のカーテン事業
 - 7・8月：打ち水大作戦、街なかオアシス
 - 9月：菜の花プロジェクト
 - 10月：河川敷清掃
 - エコツアー(おおき循環センター「くるるん」)
 - 意見交換会(山口市温暖化対策地域協議会)
 - 11月：エコ工房祭り
 - 12月：キャンドルナイト
 - 1月：研修会(日本野鳥の会筑豊支部：広塚忠夫氏)
 - 2月：エコスタいづか(環境教育推進大会)
- その他、年4回、会報を発行



《会計部》：河野藤孝

2016年度決算報告及び2017年度予算案

★2016年度決算報告 ★2016年度一般会計収支計算書

収入の部(2016年1月～12月まで)

項 目	金 額(円)
会費収入	486,000
探鳥・植物参加費収入	46,200
委託調査収入	180,575
販売部収入	68,261
寄付金収入	71,895
体験入会収入	3,000
雑収入(郵便局利息他)	40
当期収入合計(A)	855,971
前期繰越額	462,487
収入合計(B)	1,318,458

支出の部

項 目	金 額(円)
事務所経費(家賃)	316,296
通信費	20,177
事務経費	2,959
備品費	30,634
活動費	44,275
行事費	12,018
野鳥だより・筑豊発行費	211,376
事務局経費	7,598
情報部	34,992
予備費	
当期支出合計(C)	680,325
当期収支合計(A)-(C)	175,646
次期繰越額(B)-(C)	638,133

★2016年度特別会計増減報告

項 目	金 額(円)
前期繰越	2,000,000
当期繰入	0
当期引出	0
当期合計	2,000,000

★2017年度予算案 ★2017年度一般会計収支予算書

収入の部(2017年1月～12月まで)

項 目	金 額(円)
会費収入	490,000
探鳥・植物参加費収入	40,000
委託調査収入	180,000
販売部収入	65,000
寄付収入	30,000
体験入会収入	1,000
雑収入	0
当期収入合計(A)	806,000
前期繰越額	638,133
収入合計(B)	1,444,133

支出の部

項 目	金 額(円)
事務所経費(家賃)	317,000
通信費	25,000
事務経費	3,000
備品費	30,000
活動費	60,000
行事費	20,000
野鳥だより・筑豊発行費	270,000
事務局経費	20,000
情報部	10,000
予備費	50,000
当期支出合計(C)	805,000
当期収支合計(A)-(C)	1,000
次期繰越額(B)-(C)	639,133

★2017年度特別会計増減予算案

項 目	金 額(円)
前期繰越	2,000,000
当期繰入	0
当期引出	0
当期合計	2,000,000

2016年度決算報告及び特別会計増減報告は適正に
処理されていることを認めます。

2017年1月26日 会計監査 国武光成
三浦博嗣

2016年度予算対比実績

収入の部(2016年1月～12月まで)

項 目	予 算(円)	実 績(円)	達 成 率(%)
会費収入	490,000	486,000	99
探鳥・植物参加費収入	40,000	46,200	116
委託調査収入	180,000	180,575	100
販売部収入	70,000	68,261	98
寄付金収入	30,000	71,895	240
体験入会収入	1,000	3,000	300
雑収入(郵便局利息他)	3,000	40	1
当期収入合計(A)	814,000	855,971	105

支出の部(2016年1月～12月まで)

項 目	予 算(円)	実 績(円)	達 成 率(%)
事務所経費(家賃)	317,000	316,296	100
通信費	35,000	20,177	58
事務経費	3,000	2,959	99
備品費	30,000	30,634	102
活動費	60,000	44,275	74
行事費	25,000	12,018	48
野鳥だより・筑豊発行費	335,000	211,376	63
事務局経費	20,000	7,598	38
情報部	10,000	34,992	350
当期支出合計(C)	835,000	680,325	81
当期収支合計(A)－(C)	-21,000	175,646	

★2016年度特別会計増減報告

項 目	2016年度(円)
前期繰越	2,000,000
当期繰入	0
当期引出	0
当期合計	2,000,000

《販売部》：松隈英子

2016 年度販売部収支報告

1. 販売収支

[1]販売額 350,968 円 [2]仕入額 282,707 円 [3]利益額 68,261 円

2. 販売実績一覧表[単位:円]

資料 No	品 名	仕入額	販売額	振込	利益金
1	日本の野鳥 650	4,588	4,000		-588
2	フィールドガイド日本の野鳥	3,810	3,888		78
3	山羊皮ストラップ付き	25,473	29,968		4,495
4	フィールドノート	1,392	864		-528
5	ニコンプロスタツフ 7s8×30	18,925	20,655		1,730
6	卓上カレンダー他	68,235	76,869		8,634
7	鳴き声ガイド日本の野鳥他	26,164	32,724		6,560
8	ワイルドバードカレンダー	10,230	13,000		2,770
9	9 ワイルドバードカレンダー	123,890	169,000		45,110
	計	282,707	350,968		68,261

日本野鳥の会筑豊支部 役員体制

- 支部長……………本会を代表し、諸事業を統括する。
(梶原剛二)
- 副支部長……………支部長を補佐し、必要に応じてその職務を代行する。
(真鍋直嗣 : 三浦博嗣)
- 事務局長……………事務・事業を掌握し、本会の運営実務を行う。
(広塚忠夫)
- 事務局次長……………事務局長を補佐し、必要に応じてその職務を代行する。
(有働孝士 : 野村芳宏)
- 会計部……………本会の会計実務を行う。
(河野藤孝)
- 会計監査……………本会の監査を行う。
(後藤ようこ : 宮本秀美)
- 普及部……………定例探鳥会及び地区探鳥会を開催し、会の普及を図る。
(梶原剛二 : 松尾浩二 : 国武光成 : 真鍋直嗣)
- 研究部……………各種調査活動を実施する。
(柴田 光 : 木村直喜 : 田中憲二 : 小河洋綽 : 筒井哲史)
- 販売部……………野鳥の会の物品販売を行う。
(松隈英子)
- 保護部……………他の自然保護団体と連携し、保護活動を進める。
(筒井哲史 : 後藤文嗣 ・ 木村直喜)
- 編集部……………野鳥だよりの定期発行を行う。
(三宅敏靖 : 運営委員会参加者)
- 植物部……………自然観察を楽しみ、植物と野鳥を研究する。
(三浦博嗣 : 三浦美代子・中村照美・松隈英子・佐藤久恵・岩本君子・村上貴久子)
- 情報部……………各種活動情報、観察データの収集・保存およびその利用促進に取り組む。
(有働孝士 : 木村直喜 : 筒井哲史)
- *名誉支部長……………本会の事業について、役員会に助言を与える事ができる。
(松尾節朗)
- *写真部……………2007年から休部中

(2017年2月19日現在)